

三条商工会議所景況調査概況

【2019年10月～12月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した2019年12月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国338商工会議所が2,635企業にヒアリング。回答数2,024件
＜三条地域＞会議所会員事業所400社を対象にアンケート調査。回答数257件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

12月の全産業合計の業況DIは、▲29.4（前月比▲2.6ポイント）

都市部の再開発を中心とする民間工事は底堅く推移する一方、消費税率引上げ後から受注の減少も見られる建設業や、米中貿易摩擦・中国経済減速の影響が長引き、工作機械や産業用機械、自動車関連を中心に不振が続く製造業が全体を押し下げた。消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が落ち着き始めたとの声も聞かれる一方、消費者の節約志向の強まりや、世界経済の先行き不透明感、深刻な人手不足や人件費の上昇が引き続き中小企業のマインドを下押ししており、業況改善の動きは依然として力強さを欠いている。

先行き見通しDIは、▲27.8（今月比+1.6ポイント）

年末年始の商戦を契機とする個人消費拡大やインバウンドを含めた観光需要拡大への期待感がうかがえる。一方、消費税率引上げの影響や、人件費の上昇や受注機会の損失など人手不足の深刻化の影響、原材料費の上昇、コスト増加分の価格転嫁の遅れ、貿易摩擦や世界経済の動向、日韓情勢の行方など不透明感が増す中、中小企業の業況感には慎重な姿勢が続く。

全国の12月産業別業況

【建設業】

「県の公共工事予算が秋の台風による被災地域の復旧に振り分けられ、当地域での公共工事の発注量は減っているため、売上の確保が難しい。しかし、人手不足が深刻化する中、技術者確保のためには冬の賞与を減らすわけにはいかず、昨年並みの支給を考えている」（一般工事業）、「消費税率引上げによる消費低迷を受け、売上が伸びない。人手不足による人件費や外注費のコスト増も深刻で、今後の動向に懸念がある」（舗装工事業）

【製造業】

「米中貿易摩擦の緩和の兆しが見られる一方、英国の欧州連合（EU）離脱が決定的になり、また、自動車等の輸出の減少や円高基調による原材料価格の高騰、人手不足の影響が続いており、厳しい状況。大手の生産調整も始まっており、先行きを懸念している」（自動車・附属品製造業）、「半導体製造装置関連の受注増は見受けられるが受注動向の波が激しく、また、米中貿易摩擦への懸念を払しょくできず、冬の賞与を抑えざるを得ない。来年度のベースアップに向けた利益を確保できるかどうか、先行き不透明な状況である」（計量器測定器等製造業）

【卸売業】

「平年より気温の高い日が多く、防寒類を中心とした冬物衣料品の動きが鈍いほか、消費税率引上げによる影響が残っており、売上が悪化した。また、若手の人材を育成したいが人手不足が深刻であり、人材の確保に難航している」（衣服・日用品卸売業）、「米中貿易摩擦の影響により業績が落ちている取引先が多く、その影響を受けて売上が伸び悩んでいる。先行き不透明感は強く、今後も様子見の状態が続く見込み」（一般機械器具卸売業）

【小売業】

「年末商戦前に、早期受注を目的としたイベントを仕掛けた結果、客足が伸び、売上は増加した。一方で仕入れ単価の値上がりなどもあり、消費税率引上げによる消費の停滞はしばらく続くのではないかと感じる」（贈答品・生活雑貨小売業）、「消費税率引上げの影響は徐々に落ち着きを見せており、前回の消費税率引上げ時のような深刻な落ち込みや影響の長期化は無いと見込んでいる。食料品を中心としたフロアの改装を行ったことも好材料となっており、クリスマスや年末・初売り商戦を見据えさらなる売上増を図りたい」（百貨店）

【サービス業】

「消費税率引上げ後、初の忘年会シーズンだが、昨年と比べ、忘年会の予約件数が減少しており、歳末の活気が感じられない。他店でも忘年会の動きが鈍いと聞いており、消費の落ち込みを感じる」（飲食業）、「スキーシーズンを迎え、国内からの客は例年並みだが、インバウンドは昨年を上回る勢いで予約が伸びている。オーストラリアを中心に長期滞在型の客が増加しており、売上は好調に推移している」（宿泊業）

【三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<http://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況 DI は、平成 30 年度第 3 四半期(H30 年 10～12 月)比(以後 前年同期比という)では▲26 (前期差 2 ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲6 (前期差 13 ポイント増)、製造業が▲17 (前期差 2 ポイント増)、卸売業が▲52 (前期差 12 ポイント減)、小売業が▲30 (前期差 10 ポイント減)、サービス業が▲30 (前期差 7 ポイント減)となった。前回調査に比べ、建設業、製造業は DI 値が回復したが、卸売業、小売業、サービス業は DI 値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況 DI は▲6 (前期差 13 ポイント増)、採算 DI は▲15 (前期差 9 ポイント減)、売上額 DI は▲15 (前期差 4 ポイント増)、従業員 DI は▲15 (前期差 18 ポイント減)となり、業況 DI、売上額 DI は増加したが、採算 DI、従業員 DI は減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況 DI は▲17 (前期差 2 ポイント増)、採算 DI は▲18 (前期差 9 ポイント減)、売上額 DI は▲19 (前期差 9 ポイント減)、従業員 DI は+3 (前期差 15 ポイント減)となり、業況 DI は増加したが、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI は減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況 DI は▲52 (前期差 12 ポイント減)、採算 DI は▲36 (前期差 10 ポイント減)、売上額 DI は▲34 (前期差 7 ポイント減)、従業員 DI は+2 (前期差 6 ポイント増)となり、従業員 DI は増加したが、業況 DI、採算 DI、売上額 DI は減少で推移した。

【小売業】

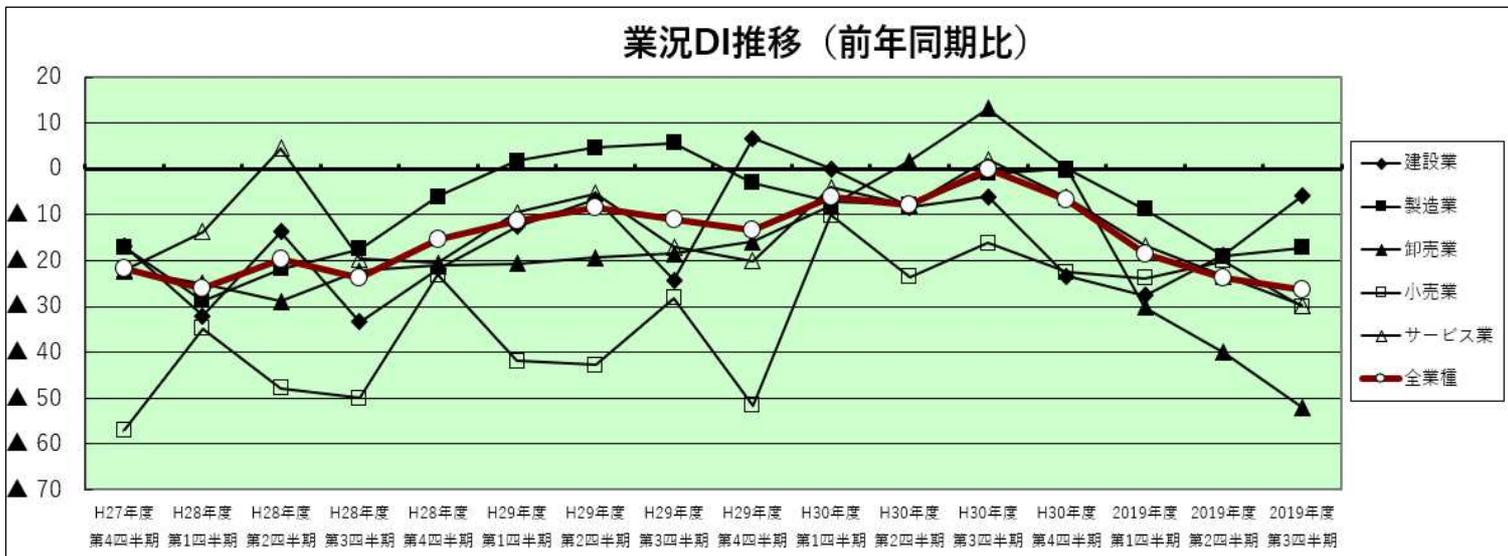
小売業では、前年同期比の業況 DI は▲30 (前期差 10 ポイント減)、採算 DI は▲10 (前期差 2 ポイント増)、売上額 DI は▲37 (前期差 29 ポイント減)、従業員 DI は±0 (前期差 13 ポイント増)となり、採算 DI、従業員 DI は増加したが、業況 DI、売上額 DI は減少で推移した。

【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況 DI は▲30 (前期差 7 ポイント減)、採算 DI は▲29 (前期差 25 ポイント減)、売上額 DI は▲31 (前期差 18 ポイント減)、従業員 DI は▲7 (前期差 3 ポイント増)となり、従業員 DI は増加したが、業況 DI、採算 DI、売上額 DI は減少で推移した。

三条地域の業況DI(前年同期比)の推移 ※DI値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	H27年度	H28年度				H29年度		
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
全業種	▲ 22	▲ 26	▲ 20	▲ 24	▲ 15	▲ 11	▲ 8	▲ 11
建設業	▲ 17	▲ 32	▲ 14	▲ 33	▲ 22	▲ 13	▲ 7	▲ 24
製造業	▲ 17	▲ 29	▲ 22	▲ 18	▲ 6	2	5	6
卸売業	▲ 22	▲ 25	▲ 29	▲ 22	▲ 21	▲ 21	▲ 19	▲ 19
小売業	▲ 57	▲ 35	▲ 48	▲ 50	▲ 23	▲ 42	▲ 43	▲ 28
サービス業	▲ 22	▲ 14	5	▲ 20	▲ 20	▲ 9	▲ 5	▲ 17
	H29年度	H30年度				2019年度		
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
全業種	▲ 13	▲ 6	▲ 8	0	▲ 7	▲ 19	▲ 24	▲ 26
建設業	7	0	▲ 8	▲ 6	▲ 23	▲ 28	▲ 19	▲ 6
製造業	▲ 3	▲ 7	▲ 8	▲ 1	0	▲ 9	▲ 19	▲ 17
卸売業	▲ 16	▲ 8	2	13	0	▲ 30	▲ 40	▲ 52
小売業	▲ 52	▲ 10	▲ 24	▲ 16	▲ 23	▲ 24	▲ 20	▲ 30
サービス業	▲ 20	▲ 4	▲ 8	2	▲ 6	▲ 17	▲ 23	▲ 30

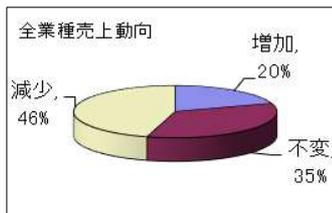


2019年度 第3四半期(2019年10月～12月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

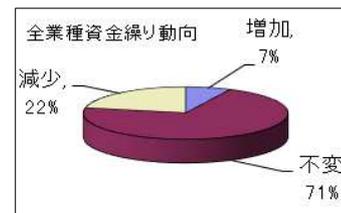
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	51	89	117
	%	20%	35%	46%
建設業	件数	9	11	14
	%	26%	32%	41%
製造業	件数	22	32	40
	%	23%	34%	43%
卸売業	件数	8	17	25
	%	16%	34%	50%
小売業	件数	3	13	14
	%	10%	43%	47%
サービス業	件数	9	16	24
	%	18%	33%	49%



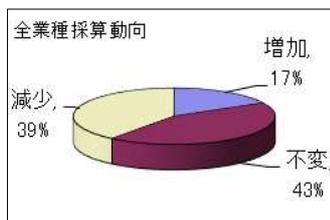
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	18	179	55
	%	7%	71%	22%
建設業	件数	2	27	5
	%	6%	79%	15%
製造業	件数	9	63	20
	%	10%	68%	22%
卸売業	件数	1	42	7
	%	2%	84%	14%
小売業	件数	3	18	8
	%	10%	62%	28%
サービス業	件数	3	29	15
	%	6%	62%	32%



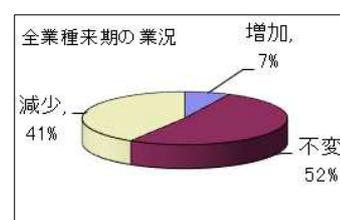
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	44	111	101
	%	17%	43%	39%
建設業	件数	7	15	12
	%	21%	44%	35%
製造業	件数	17	42	34
	%	18%	45%	37%
卸売業	件数	6	20	24
	%	12%	40%	48%
小売業	件数	6	15	9
	%	20%	50%	30%
サービス業	件数	8	19	22
	%	16%	39%	45%



業種別来期(2020.1～3月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	15	109	87
	%	7%	52%	41%
建設業	件数	1	13	14
	%	4%	46%	50%
製造業	件数	8	45	25
	%	10%	58%	32%
卸売業	件数	2	16	24
	%	5%	38%	57%
小売業	件数	0	14	7
	%	0%	67%	33%
サービス業	件数	4	21	17
	%	10%	50%	40%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。
<http://www.sanjo-cci.or.jp>